

自転車交通安全について

国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所



自転車交通安全について

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 令和3年度自転車交通安全の実施概要 | 1 |
| 2. 太平洋岸自転車道の安全点検検討会の設置 | 2 |
| 3. 太平洋岸自転車道の安全点検の実施 | 3 |
| 4. 太平洋岸自転車道の安全点検の実施方法の評価 | 10 |
| 5. 太平洋岸自転車道の安全点検の次年度以降の展開 | 14 |

令和3年度自転車交通安全の実施

- 太平洋岸自転車道は、千葉県銚子市から神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県の各太平洋岸を走り、和歌山市に至る延長約1,400kmの自転車道であり、令和3年5月に「ナショナルサイクルルート(NCR)」に指定された。
- 「太平洋岸自転車道の安全点検検討会」を設立し、太平洋岸自転車道 興津川～道の駅「富士」の区間について安全点検を実施した。

令和3年度

- 令和3年5月31日 太平洋岸自転車道（千葉県銚子市～和歌山県和歌山市間）がナショナルサイクルルートに指定
- 「太平洋岸自転車道の安全点検検討会」を設立
- 「太平洋岸自転車道の安全点検」を、興津川～道の駅「富士」の区間で実施

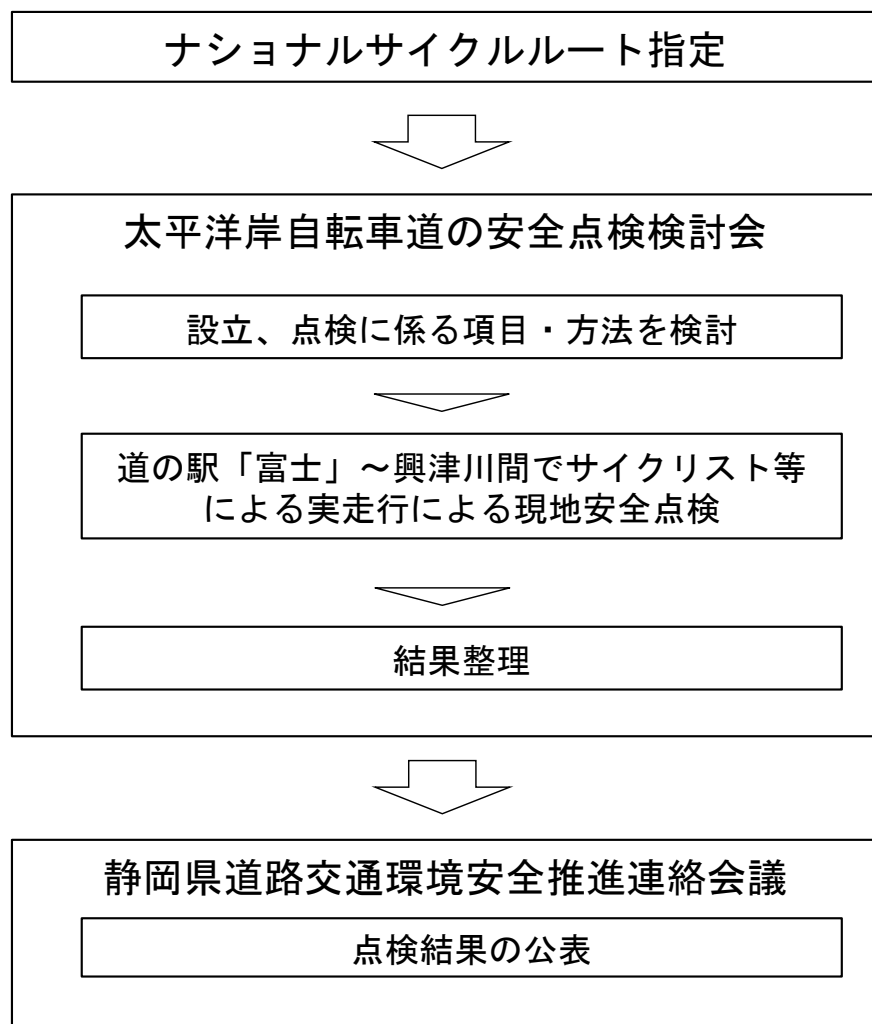


<太平洋岸自転車道全体図及び今回点検区間>

太平洋岸自転車道の安全点検検討会の設置

- ・ ナショナルサイクルルートに指定された太平洋岸自転車道について、安全点検を実施し、安全点検の手引き(案)を作成することを目的に設置した。
- ・ 太平洋岸自転車道のルート上におけるナショナルサイクルルートの指定要件「2.走行環境」に係る点検に関する審議や調整を実施した。

＜令和3年度 安全点検検討会フロー＞



＜ナショナルサイクルルートの指定要件＞

| 観点 | 指定要件 |
|----------|---|
| 1. ルート設定 | ① サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること |
| 2. 走行環境 | ① 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること ② 誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること |
| 3. 受入環境 | ① 多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること |
| | ② いつでも休憩できる環境を備えていること |
| | ③ ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること |
| | ④ サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること |
| | ⑤ 地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること |
| | ⑥ 自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること |
| | ⑦ 緊急時のサポートが得られる環境を備えていること |
| 4. 情報発信 | ① 誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること |
| 5. 取組体制 | ① 官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること |

(出典：国土交通省自転車活用推進本部HP)

＜太平洋岸自転車道の安全点検検討会 構成＞

| | |
|-------|---|
| 沿線自治体 | 静岡県 (道路整備課・道路保全課・道路企画課・スポーツ政策課) 静岡市 (道路保全課・道路計画課) 富士市 (建設総務課・スポーツ振興課) |
| 警察 | 静岡県警 (交通企画課、交通規制課) |
| 地域関係者 | レバンテフジ静岡 ふじのくにeastサイクリストクラブ |
| 学識経験者 | 埼玉大学 久保田教授 東海大学 鈴木准教授 |
| 事務局 | 国土交通省静岡国道事務所 |

太平洋岸自転車道の安全点検の実施

(1)安全点検の区間およびカテゴリ

- 特に重点的に点検すべき項目(チェックリスト)を整理するために、安全点検実施区間（興津川～道の駅「富士」）について、走行空間の形態、沿道の利用状況、車両及び歩行者の数等の項目を踏まえて**事前に区間をカテゴリ**した。

<点検区間のカテゴリ>

※表の着色箇所はカテゴリにあたって重視した項目

| | | A : 興津川～潮吹園 | B : 潮吹園～西倉沢交差点 | C : 西倉沢交差点～富士川橋 | D : 富士川橋～道の駅「富士」 |
|---------|----------|-------------|----------------|-----------------|------------------|
| 区間の特徴 | | 海沿い | NCR未整備区間あり | 車道混在・沿道家屋あり | NCR未整備区間あり |
| カテゴリの視点 | 路線名 | 国道1号 | 国道1号 | 旧東海道(市道、県道370号) | 国道1号 |
| | | 整備形態 | 車道と分離(自歩道) | 車道と分離(自歩道) | 車道混在 |
| | NCR未整備区間 | なし | NCR未整備区間あり | なし | NCR未整備区間あり |
| | 沿道状況 | 沿道家屋 | なし | なし | 沿道家屋あり |
| 海沿い | | 海沿い | — | — | — |



<点検区間（興津川～道の駅「富士」）>

(2)安全点検のチェック項目

- ・「ナショナルサイクルルートの指定要件」及び「国が管理する一般国道及び高速自動車国道の維持管理基準(案)」に基づき、特に重点的に点検する項目(チェックリスト)を作成した。

空欄：確認する項目 ○：特に確認する項目 —：確認不要の項目




| 種別 | チェック項目 | ルートのカテゴリー | | | |
|-------|--------|--|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| | | A 区間 興津川 ～ 潮吹園 | B 区間 潮吹園 ～ 西倉沢交差点 | C 区間 西倉沢交差点 ～ 富士川橋 | D 区間 富士川橋 ～ 道の駅「富士」 |
| 舗装・路面 | ① | ・未舗装となっていないか | | | |
| | ② | ・路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | | | |
| | ③ | ・パンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | | | |
| | ④ | ・植栽の通行空間へのはみ出しはないか | | | |
| | ⑤ | ・街路樹からの落葉等の堆積はないか | | | |
| | ⑥ | ・海沿いで水しぶきのかかる箇所はないか | ○ (海沿い) | — | — |
| | ⑦ | ・海沿いで砂が堆積している箇所はないか | ○ (海沿い) | — | — |
| 排水施設 | ⑧ | ・排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | | ○ (歩道端側溝あり) | ○ (車道端側溝あり) |
| 防護柵 | ⑨ | ・路外への転落を防ぐための防護柵があるか (車両用防護柵のみの箇所など) | — | ○ (中小橋あり) | ○ (中小橋あり) |
| 附属物 | ⑩ | ・走行の妨げになる道路附属物はあるか(柵、標識、車止め等) | | ○ (未整備区間) | ○ (車道混在) |
| 注意喚起 | ⑪ | ・ドライバーに対する、自転車通行に配慮する旨の注意喚起の有無(情報板等) | — | — | ○ (車道混在) |
| | ⑫ | ・自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無(トンネル、橋梁部、急勾配箇所等) | ○ (興津川橋) | | ○ (急勾配：旧東海道×県396、ボックス) |
| 案内誘導 | ⑬ | ・自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示の有無(一定の区間、分岐部) | | | |
| | ⑭ | ・拠点(サイクリステーション)、(サイクリストに優しい施設)への案内が一定の間隔にあるか | — | — | ○ (由比本陣公園) |
| | ⑮ | ・多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内があるか | | | |
| その他 | ⑯ | ・上記以外に気付いた点(自由回答) | | | |

(3)安全点検の実施結果（全体）

- 安全点検を実施した結果、全113件の意見が集まった。
- 全体意見のうち、⑬案内誘導が約30%と最も多く、⑯その他※が約28%、④植栽および②舗装の隆起・段差等が約12%であった。

※ゴミ（落下物）、矢羽根の劣化、トイレ案内、ビュースポットの案内追加 等の意見。

| チェック項目 | | 全体 N=113 | A区間 (海沿い) N=21 | B区間 (NCR未整備 区間あり) N=6 | C区間 (車道混在・ 沿道家屋あり) N=62 | D区間 (NCR未整備 区間あり) N=24 |
|---------------|---|-------------|----------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 舗装 ・ 路面 | ① 未舗装となっていないか | 4.4% | | 16.7% | 1.6% | 12.5% |
| | ② 路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | 11.5% | | 16.7% | 19.4% | |
| | ③ パンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | 3.5% | 14.3% | 16.7% | | |
| | ④ 植栽の通行空間へのはみ出しはないか | 12.4% | 9.5% | | 14.5% | 12.5% |
| | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか | | | | | |
| | ⑥ 海沿いで水しぶきのかかる箇所はないか | | | | | |
| | ⑦ 海沿いで砂が堆積している箇所はないか | 0.9% | 4.8% | | | |
| 排水施設 | ⑧ 排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | 0.9% | 4.8% | | | |
| 防護柵 | ⑨ 路外への転落を防ぐための防護柵があるか（車両用防護柵のみの箇所など） | | | | | |
| 附属物 | ⑩ 走行の妨げになる道路附属物はあるか（柵、標識、車止め等） | 4.4% | 9.5% | 16.7% | 3.2% | |
| 注意喚起 | ⑪ ドライバーに対する、自転車通行に配慮する旨の注意喚起の有無（情報板等） | | | | | |
| | ⑫ 自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無（トンネル、橋梁部、急勾配箇所等） | 1.8% | 9.5% | | | |
| 案内誘導 | ⑬ 自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示の有無（一定の区間、分岐部） | 31.9% | 9.5% | 33.3% | 33.9% | 45.8% |
| | ⑭ 拠点（サイクルステーション）、（サイクリストに優しい施設）への案内が一定の間隔にあるか | | | | | |
| | ⑮ 多言語（日英2か国以上）やピクトグラムでの案内があるか | | | | | |
| その他※ | ⑯ 上記以外に気付いた点（自由回答） | 28.3% | 38.1% | | 27.4% | 29.2% |

【凡例】
 : 特に確認する項目
 : 確認不要の項目
 : 安全点検の意見割合

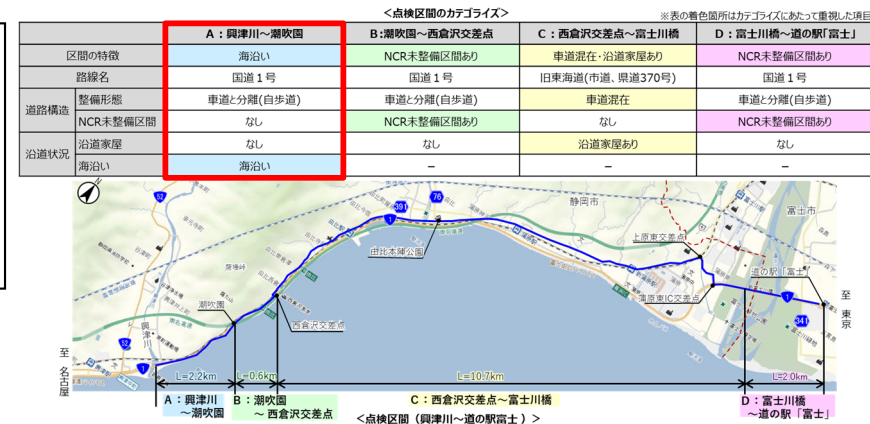
(3)安全点検の実施結果 (A区間)

- ・ A区間では、12件の意見が集まった。
- ・ 意見のうち、⑩その他※が約38%と最も多く、③ガラス破片の散乱等が約14%となった。
- ・ 海沿いの区間ではあるが、高い防波堤があり、⑦砂の堆積は約5%だったが、⑥水しぶきに関する意見はなかった。

【A区間の点検結果】

【凡例】
 : 特に確認する項目
 : 確認不要の項目
 : 安全点検の意見割合

| チェック項目 | | A区間 (海沿い) N=21 |
|--------|---|----------------------|
| 舗装・路面 | ① 未舗装となっていないか | |
| | ② 路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | |
| | ③ パンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | 14.3% |
| | ④ 植栽の通行空間へのはみ出しはないか | 9.5% |
| | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか | |
| 排水施設 | ⑥ 海沿いで水しぶきのかかる箇所はないか | |
| | ⑦ 海沿いで砂が堆積している箇所はないか | 4.8% |
| 排水施設 | ⑧ 排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | 4.8% |
| 附属物 | ⑩ 走行の妨げになる道路附属物はあるか(柵、標識、車止め等) | 9.5% |
| 注意喚起 | ⑫ 自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無(トンネル、橋梁部、急勾配箇所等) | 9.5% |
| 案内誘導 | ⑬ 自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示の有無(一定の区間、分岐部) | 9.5% |
| | ⑮ 多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内があるか | |
| その他※ | ⑯ 上記以外に気付いた点(自由回答) | 38.1% |



③ ガラス破片の散乱



④ 植栽の通行空間へのはみ出し



⑩ 使われていない看板基礎



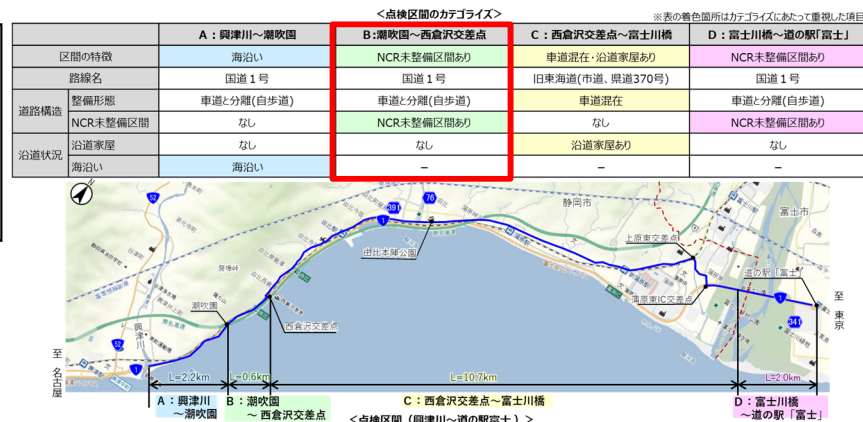
⑯ 落下物あり



※その他意見内容
 ゴミ(落下物)、対面通行箇所幅員狭小
 ビュースポットの案内

(3)安全点検の実施結果 (B区間)

- ・ B区間では、6件の意見が集まった。
- ・ 意見のうち、⑬案内誘導が約33%と最も多く、特に通行空間が車道部と歩道部に移行する箇所での案内誘導の充実に関する意見が集中していた。



【B区間の点検結果】

【凡例】
 : 特に確認する項目
 : 確認不要の項目
 : 安全点検の意見割合

| チェック項目 | | B区間 (NCR未整備 区間あり) N=6 |
|--------|---|--------------------------------|
| 舗装・路面 | ① 未舗装となっていないか | 16.7% |
| | ② 路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | 16.7% |
| | ③ パンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | 16.7% |
| | ④ 植栽の通行空間へのはみ出しはないか | |
| | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか | |
| 排水施設 | ⑧ 排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | |
| 防護柵 | ⑨ 路外への転落を防ぐための防護柵があるか(車両用防護柵のみの箇所など) | |
| 附属物 | ⑩ 走行の妨げになる道路附属物はあるか(柵、標識、車止め等) | 16.7% |
| 注意喚起 | ⑫ 自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無(トンネル、橋梁部、急勾配箇所等) | |
| 案内誘導 | ⑬ 自転車ビクトによる経路や距離に関する路面標示の有無(一定の区間、分岐部) | 33.3% |
| | ⑮ 多言語(日英2か国以上)やビクトグラムでの案内があるか | |
| その他※ | ⑯ 上記以外に気付いた点(自由回答) | |

- ② 舗装の隆起
- ③ パンク原因



- ⑩ ガードレールによってアクセスしづらい



- ⑬ 案内誘導不足



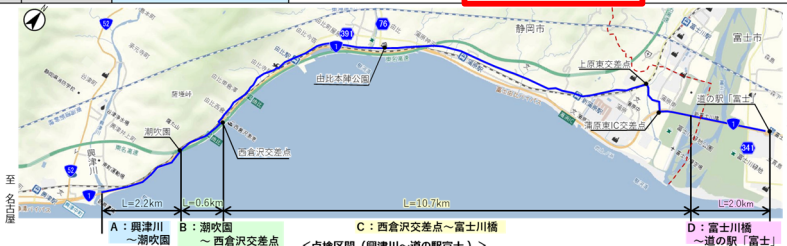
※『案内誘導不足だけでなく、経路を外れた場合に非常に危険』と意見あり

(3)安全点検の実施結果 (C区間)

- ・ C区間では、62件の意見が集まった。
- ・ 意見のうち、⑬案内誘導が約34%と最も多く、特に分岐部における案内誘導の充実に関する意見が集中していた。
- ・ また、⑯その他が約27%、②舗装の隆起・段差等が約19%となった。

<点検区間のカテゴリ> ※表の黄色箇所はカテゴリによって重視した項目

| 区間の特徴 | A: 興津川～潮吹園 | B: 潮吹園～西倉沢交差点 | C: 西倉沢交差点～富士川橋 | D: 富士川橋～道の駅「富士」 |
|----------|------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 路線名 | 海沿い | NCR未整備区間あり | 車道混在・沿道家屋あり | NCR未整備区間あり |
| 道路構造 | 国道1号 | 国道1号 | 旧東海道(市道、県道370号) | 国道1号 |
| 整備形態 | 車道と分離(自歩道) | 車道と分離(自歩道) | 車道混在 | 車道と分離(自歩道) |
| NCR未整備区間 | なし | NCR未整備区間あり | なし | NCR未整備区間あり |
| 沿道家屋 | なし | なし | 沿道家屋あり | なし |
| 沿道状況 | 海沿い | 海沿い | - | - |



【C区間の点検結果】

【凡例】

- 黄色: 特に確認する項目
- 灰色: 確認不要の項目
- 赤色: 安全点検の意見割合

| チェック項目 | | C区間 (車道混在・沿道家屋あり) N=62 |
|--------|---|------------------------------|
| 舗装・路面 | ① 未舗装となっていないか | 1.6% |
| | ② 路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | 19.4% |
| | ③ パンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | |
| | ④ 植栽の通行空間へのはみ出しはないか | 14.5% |
| | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか | |
| 排水施設 | ⑧ 排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | |
| 防護柵 | ⑨ 路外への転落を防ぐための防護柵があるか(車両用防護柵のみの箇所など) | |
| 附属物 | ⑩ 走行の妨げになる道路附属物はあるか(柵、標識、車止め等) | 3.2% |
| 注意喚起 | ⑪ ドライバーに対する、自転車通行に配慮する旨の注意喚起の有無(情報板等) | |
| | ⑫ 自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無(トンネル、橋梁部、急勾配箇所等) | |
| 案内誘導 | ⑬ 自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示の有無(一定の区間、分岐部) | 33.9% |
| | ⑭ 拠点(サイクルステーション)、(サイクリストに優しい施設)への案内が一定の間隔にあるか | |
| その他※ | ⑮ 多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内があるか | |
| | ⑯ 上記以外に気付いた点(自由回答) | 27.4% |

② 舗装の隆起・段差



④ 植栽の通行空間へのはみ出し



⑬ 案内誘導不足



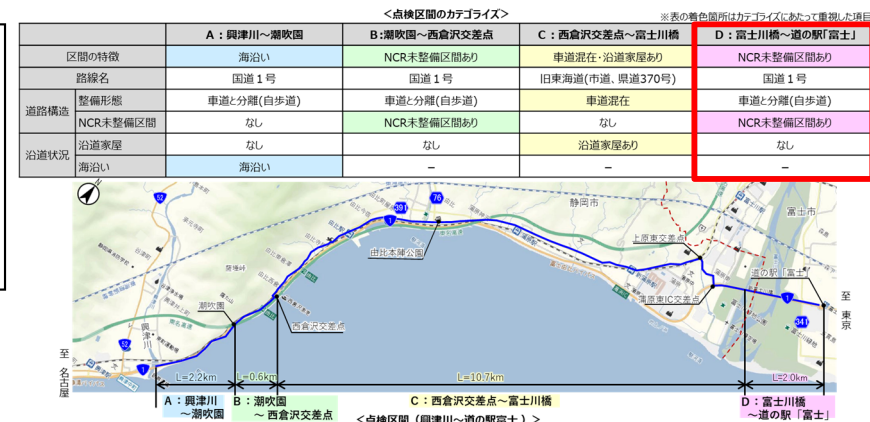
⑯ ゴミ(落下物)



※その他意見内容
踏切部の渡り方表示の改善、矢羽根の劣化、
ゴミ(落下物)あり、外側線を引いてはどうか

(3)安全点検の実施結果 (D区間)

- D区間では、24件の意見が集まった。
- 意見のうち、⑬案内誘導が約46%と最も多く、特に富士川堤防の階段へ誘導する案内（NCR未整備区間内）が分かりづらいとの意見が集中していた。
- また、⑯その他が約29%となった。



【D区間の点検結果】

【凡例】
 : 特に確認する項目
 : 確認不要の項目
 : 安全点検の意見割合

| チェック項目 | | D区間 (NCR未整備区間あり) N=24 |
|--------|---|-----------------------------|
| 舗装・路面 | ① 未舗装となっていないか | 12.5% |
| | ② 路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | |
| | ③ パンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | |
| | ④ 植栽の通行空間へのはみ出しはないか | 12.5% |
| | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか | |
| 排水施設 | ⑧ 排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | |
| 附属物 | ⑩ 走行の妨げになる道路附属物はあるか(柵、標識、車止め等) | |
| 注意喚起 | ⑫ 自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無(トンネル、橋梁部、急勾配箇所等) | |
| 案内誘導 | ⑬ 自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示の有無(一定の区間、分岐部) | 45.8% |
| | ⑭ 拠点(サイクルステーション)、(サイクリストに優しい施設)への案内が一定の間隔にあるか | |
| | ⑮ 多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内があるか | |
| その他※ | ⑯ 上記以外に気付いた点(自由回答) | 29.2% |

④ 植栽の通行空間へのはみ出し



⑬ 階段へ誘導する案内が分かりづらい



⑯ 落下物あり



⑯ ビュースポットの案内出していはどうか



※その他意見内容

見通しが悪い、トイレ案内が欲しい、ビュースポットの案内、ゴミ(落下物)あり

(1)安全点検の実施方法（全体）

- ・ 走行空間の形態、沿道の利用状況及び歩行者の数などのサイクルルートの特性に応じて安全点検区間を事前にカテゴリ化し、特に重点的に点検すべき項目（チェックリスト）を整理した。
- ・ その結果、予め、点検すべき項目を絞り込むことが出来、安全点検の効率化が図られた。

安全点検にあたってのサイクルルートのカテゴリ化(案)

2

○安全点検を実施する区間について、特徴的な道路構造と沿道状況により4区間に分類した。

| 種別 | A 興津川 ～ 潮吹園 | B 潮吹園 ～ 西倉沢交差点 | C 西倉沢交差点 ～ 富士川橋 | D 富士川橋 ～ 道の駅「富士」 |
|-------|----------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 区間の特徴 | 海沿い | NCR未整備区間あり | 車道混在、 沿道家屋あり | NCR未整備区間あり |
| 路線名 | 国道1号 | 国道1号 | 旧東海道 (市道、県道370号) | 国道1号 |
| 道路構造 | 自転車走行空間 | 車道と分離 (自歩道) | 車道混在 (矢羽根) | 車道と分離 (自歩道) |
| | NCR未整備区間 | なし | なし | NCR未整備区間あり (階段部) |
| 沿道状況 | 沿道家屋 | なし | 沿道家屋あり | なし |
| | 海沿い | 海沿い | — | — |



安全点検におけるチェック項目(案)

5

空白：確認する項目 ○：特に確認する項目 —：確認不要の項目

| 種別 | チェック項目 | ルートのカテゴリ | | | |
|-------|---|----------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | | A 興津川 ～ 潮吹園 | B 潮吹園 ～ 西倉沢交差点 | C 西倉沢交差点 ～ 富士川橋 | D 富士川橋 ～ 道の駅「富士」 |
| 舗装・路面 | ① 未舗装となっていないか | | | | |
| | ② 路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | | | | |
| | ③ パンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | | | | |
| | ④ 植栽の通行空間へのはみ出しはないか | | | | |
| | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか | | | | |
| | ⑥ 海沿いで水しぶきのかかる箇所はないか | ○ (海沿い) | — | — | — |
| | ⑦ 海沿いで砂が堆積している箇所はないか | ○ (海沿い) | — | — | — |
| 排水施設 | ⑧ 排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | | ○ (歩道端割溝あり) | ○ (車道端割溝あり) | |
| 防護柵 | ⑨ 路外への転落を防ぐための防護柵があるか (車両用防護柵のみの箇所など) | — | ○ (中小橋あり) | ○ (中小橋あり) | — |
| 附属物 | ⑩ 走行の妨げになる道路附属物はあるか(柵、標識、車止め等) | | ○ (未整備区間) | ○ (車道混在) | ○ (未整備区間) |
| | ⑪ ドライバーに対する、自転車通行に配慮する旨の注意喚起の有無(情報板等) | — | — | ○ (車道混在) | — |
| 注意喚起 | ⑫ 自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無(トンネル、橋梁部、急勾配箇所等) | ○ (興津川橋) | — | ○ (急勾配：旧東海道×県396、ボックス) | ○ (富士川橋) |
| | ⑬ 自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示の有無(一定の区間、分岐部) | | | ○ (由比本陸公園) | ○ (道の駅富士) |
| 案内誘導 | ⑭ 拠点(サイクルステーション)、(サイクリストに優しい施設)への案内が一定の間隔にあるか | — | — | ○ (由比本陸公園) | ○ (道の駅富士) |
| | ⑮ 多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内があるか | | | | |
| その他 | ⑯ 上記以外に気付いた点(自由回答) | | | | |

出典：第1回 太平洋岸自転車道の安全点検検討会 資料

(2)安全点検時の意見収集方法

- ・ Android端末を活用し、写真・チェックリスト番号及びコメントを入力してもらい意見を収集した。
- ・ 点検結果では、チェック番号のアンマッチや点検者によってチェック番号が異なる結果が見られた。
- ・ 点検時の意見収集方法の簡略化の検討を行うべきと評価。

■ 点検端末の操作手順



■ チェック番号のアンマッチの例

| 写真 | 写真 | 写真 | |
|--------|-------------------|-----------|-----------|
| 写真 | | | |
| 点検者意見 | 12 案内表示がわかりにくい | 5 草 | 2 雑草 |
| チェック番号 | 13 (案内誘導) | 4 (植栽) | 4 (植栽) |

■ 点検者によって、チェック番号が異なる例

| 写真 | 写真 | |
|-------|--------------|-----------|
| 写真 | | |
| 点検者意見 | 3 金属片の落下物 | 10 金属片 |

(2) カテゴリーの視点

- 安全点検の結果、意見が無かったチェック項目に着目したところ、カテゴリーの視点に不足があることが判明した。
- 次回安全点検時に、カテゴリーの視点を追加・検討すべきと評価した。

■安全点検の結果

| チェック項目 | | 全体 N=113 | A区間 (海沿い) N=21 | B区間 (NCR未整備 区間あり) N=6 | C区間 (車道混在・ 沿道家屋あり) N=62 | D区間 (NCR未整備 区間あり) N=24 |
|-----------|---|-------------|----------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 舗装・ 路面 | ① 未舗装となっていないか | 4.4% | | 16.7% | 1.6% | 12.5% |
| | ② 路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | 11.5% | | 16.7% | 19.4% | |
| | ③ バンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | 3.5% | 14.3% | 16.7% | | |
| | ④ 植栽の通行空間へのはみ出しはないか | 12.4% | 9.5% | | 14.5% | 12.5% |
| | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか | | | | | |
| | ⑥ 海沿いで水しびきのかかる箇所はないか | | | | | |
| | ⑦ 海沿いで砂が堆積している箇所はないか | 0.9% | 4.8% | | | |
| 排水施設 | ⑧ 排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | 0.9% | 4.8% | | | |
| 防護柵 | ⑨ 路外への転落を防ぐための防護柵があるか(車道用防護柵のみの箇所など) | | | | | |
| 附属物 | ⑩ 走行の妨げになる道路附属物はあるか(柵、標識、車止め等) | 4.4% | 9.5% | 16.7% | 3.2% | |
| 注意喚起 | ⑪ ドライバーに対する、自転車通行に配慮する旨の注意喚起の有無(情報板等) | | | | | |
| | ⑫ 自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無(トンネル、橋梁部、急勾配箇所等) | 1.8% | 9.5% | | | |
| 案内誘導 | ⑬ 自転車バイクによる経路や距離に関する路面標示の有無(一定の区間・分岐部) | 31.8% | 9.5% | 33.3% | 33.9% | 45.8% |
| | ⑭ 拠点(サイクルステーション)、(サイクリストに優しい施設)への案内が一定の間隔にあるか | | | | | |
| その他 | ⑮ 多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内があるか | | | | | |
| | ⑯ 上記以外に気付いた点(自由回答) | 28.3% | 33.3% | | 27.4% | 29.2% |

着目
着目

着目

着目

■カテゴリーの視点

| カテゴリーの視点 | |
|----------|----------------------------------|
| 道路構造 | 自転車走行空間 ・車道と分離・車道混在 |
| | 歩道設置状況 |
| | 主な構造形式 ・土工・橋梁 |
| | 横断箇所、分岐部 |
| | 植栽、雑草(現地状況) |
| | (自転車走行空間の)排水施設 |
| | NCR未整備区間 |
| 交通量 | ※車道混在の場合 ・10,000台以上・10,000台未満 |
| 沿道状況 | DID地区 |
| | 沿道家屋 |
| | 海沿い |
| | 高木の有無 堤防の有無 中小橋の有無 |
| 施設状況 | 拠点の有無 |
| ... | ... |




■不足していたカテゴリーの視点

| カテゴリーの視点 | | 着目したチェック項目 |
|----------|--------|---|
| 沿道状況 | 高木の有無 | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか |
| | 堤防の有無 | ⑥ 海沿いで水しびきのかかる箇所はないか |
| | 中小橋の有無 | ⑨ 路外への転落を防ぐための防護柵があるか |
| 施設状況 | 拠点の有無 | ⑭ サイクルステーション、サイクリストに優しい施設への案内が一定の間隔にあるか |

(3)チェック項目の設定

- ・ A 区間において、特に確認する項目ではない項目（⑧⑩）に意見が挙げられており、特に確認するチェック項目の設定時に見落としがあったと評価した。
- ・ その他意見の割合が多く、矢羽根の劣化、トイレ案内、ビュースポットの案内追加などの意見も寄せられており、項目の追加を検討すべきと評価した。

| チェック項目 | | A区間 N=21 | B区間 N=6 | C区間 N=62 | D区間 N=24 |
|--------|---|-------------|------------|-------------|-------------|
| 舗装・路面 | ① 未舗装となっていないか | | 16.7% | 1.6% | 12.5% |
| | ② 路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか | | 16.7% | 19.4% | |
| | ③ バンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか | 14.3% | 16.7% | | |
| | ④ 植栽の通行空間へのはみ出しはないか | 9.5% | | 14.5% | 12.5% |
| | ⑤ 街路樹からの落葉等の堆積はないか | | | | |
| | ⑥ 海沿いで水しぶきのかかる箇所はないか | | | | |
| | ⑦ 海沿いで砂が堆積している箇所はないか | 4.8% | | | |
| 排水施設 | ⑧ 排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか | 4.8% | | | |
| 防護柵 | ⑨ 路外への転落を防ぐための防護柵があるか（車両用防護柵のみの箇所など） | | | | |
| 附属物 | ⑩ 走行の妨げになる道路附属物はあるか（柵、標識、車止め等） | 9.5% | 16.7% | 3.2% | |
| 注意喚起 | ⑪ ドライバーに対する、自転車通行に配慮する旨の注意喚起の有無（情報板等） | | | | |
| | ⑫ 自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無（トンネル、橋梁部、急勾配箇所等） | 9.5% | | | |
| 案内誘導 | ⑬ 自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示の有無（一定の区間、分岐部） | 9.5% | 33.3% | 33.9% | 45.8% |
| | ⑭ 拠点（サイクルステーション）、（サイクリストに優しい施設）への案内が一定の間隔にあるか | | | | |
| | ⑮ 多言語（日英2か国以上）やピクトグラムでの案内があるか | | | | |
| その他 | ⑯ 上記以外に気付いた点（自由回答） | 38.1% | | 27.4% | 29.2% |

【凡例】
 : 特に確認する項目
 : 確認不要の項目
 : 安全点検の意見割合

・評価結果を踏まえ、他区間での安全点検を実施し、安全点検の手引き（案）を作成する。

■評価結果（再掲）

1)安全点検の実施方法(全体)

- ・ 予め、点検すべき項目を絞り込むことが出来、安全点検の効率化が図られた。

2)安全点検時の意見収集方法

- ・ 点検時の意見収集方法の簡略化の検討を行う。

3)カテゴライズの視点

- ・ 意見が無かったチェック項目について、カテゴライズの視点を追加。

4)チェック項目の設定

- ・ 事前現地踏査などにより、特に確認する項目、確認不要の項目を精査。
- ・ その他意見を踏まえ、チェック項目を追加

5)その他

- ・ 国の維持管理基準(案)を基にチェック項目を検討したが、各自治体の維持管理基準（案）も参考に、チェック項目の検証を行う。
- ・ 緊急的に対応が必要な点検結果に対して、重みづけ評価を行うことを検討。

[自転車交通安全 参考資料]

(1)チェック項目の抽出

・チェック項目は、『NCRの指定要件』の評価項目および『国が管理する一般国道及び高速自動車国道の維持管理基準(案)』を踏まえて抽出した。

■ NCRの指定要件

| NCRの指定要件からのチェック項目抽出 | |
|-----------------------------|---|
| 項目 | チェック内容 |
| ① 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること | |
| 走行環境の安全性・都市部 (DID地区) | 自転車ネットワーク計画に位置付けられている 歩行者・自動車と分離された自転車通行空間（暫定形態を含む） 自転車歩行者道は、橋梁やトンネルなどにおける危険回避を除き認めない（自転車専用道路は認める） |
| 走行環境の安全性・都市部 (DID地区以外) | 歩行者・自動車と分離された自転車通行空間（暫定形態を含む） 自転車歩行者道は、橋梁やトンネルなどにおける危険回避を除き認めない（自転車専用道路は認める） 自動車交通量が概ね10,000台/日以上でかつ車道混在の場合は、更に外側線の外側に1.5m以上（やむを得ない場合は1.0m以上）の幅員を確保した上で100m程度の間隔で矢羽根を設置 車道混在の場合は、100m程度の間隔で矢羽根を設置、または外側線の外側に1.0m以上の幅員（排水施設等の幅員を除く）を確保 |
| 走行環境の安全性・その他 | 情報板等による自転車通行に配慮するむねの注意喚起 トンネル、橋梁部、急勾配箇所の現地に注意喚起の看板等の案内表示 |
| 快適性 | 未舗装区間がない 交差点での極力一時停止の規制がなく、迂回する必要がない |
| ② 誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること | |
| ルートの案内 | ルート全線で統一されたルート名、自転車ピクトによる経路や距離に関する路面表示 ・単路部：概ね5kmごと ・分岐部：必要箇所全箇所 河川区域などで設置できない場合は除く。 起点及び主要な目的地（主要都市や代表的な観光地等）までの距離を示す案内が一定間隔に設置 ゲートウェイ・観光施設・拠点（サイクルステーション）への案内（方面・距離等）が当該施設への分岐部及び一定の間隔にある 海外のサイクリストでも認識可能な多言語（日英2か国語以上）やピクトグラムでの案内となっている 共通仕様として示すロゴマークを設置 |

■ 国が管理する一般国道及び高速自動車国道の維持管理基準（案）

| 維持管理基準（案）からのチェック項目抽出 | |
|----------------------|--------------------------------|
| 項目 | チェック内容 |
| 2.1 道路巡回 | ・通常巡回、定期巡回、異常時巡回を実施 |
| 2.2 清掃 | ・街路樹からの落葉等の除去 ・通水阻害箇所 |
| 2.3 除草 | ・建築限界内の通行の安全確保 ・交通安全施設等の視認性 |
| 2.4 剪定 | ・建築限界内の通行の安全確保 ・交通安全施設等の視認性 |
| 2.5 設備点検 | ・電気通信設備、道路管理施設の点検 |
| 2.6 照明施設の維持 | ・ランプ切れ（夜間走行必要） |
| 2.7 除雪 | ・安全で円滑な冬期道路交通を確保 |
| 2.8 構造物点検 | ・橋梁点検、トンネル点検、防災点検 |
| 2.9 橋梁の補修 | ・点検結果を基に、計画的に補修等の対策実施 |
| 2.10 トンネルの補修 | ・点検結果を基に、計画的に補修等の対策実施 |
| 2.11 舗装の補修 | ・路面のひび割れ、わだち掘れ |
| 2.12 防災対策 | ・のり面・斜面等の対策実施 |
| 2.13 橋梁の耐震補強 | ・緊急輸送道路上の橋梁を重点的に耐震補強実施 |
| 2.14 防雪対策 | ・消融雪の更新 |
| 2.15 凍雪害防止 | ・堆雪幅の確保 |
| 2.16 事故その他の応急時における対応 | ・落下物の処置、路面・附属物の補修 |